

3 孫吉の功績とヤンマーの現在 孫吉の意志を受け継ぎ、未来のための取り組みを





時は流れ、1939年
第二次世界大戦の勃発により
街は廃墟と化した

そして
1945年の
終戦から10日後



兄さん、やっぱり
第二次世界大戦の
影響で製造拠点は
壊滅状態だ！



どうだった？



そうか…
じゃあ、営業再開は
難しそうだな

工場の機械設備は
疎開させていたから
大丈夫。今日から
事業を再開するよ

え!?
そんな急ぐことも
ないんじゃないか？

いや、戦後の荒廃した
状況だからこそ、
1日でも早く
ディーゼルエンジンが
必要になるんだよ

農業漁業で
食糧増産を促進する
動力源として
ディーゼルエンジンが
幅広く活躍すれば
切迫した食糧事情も
改善されるはずだ

孫吉…



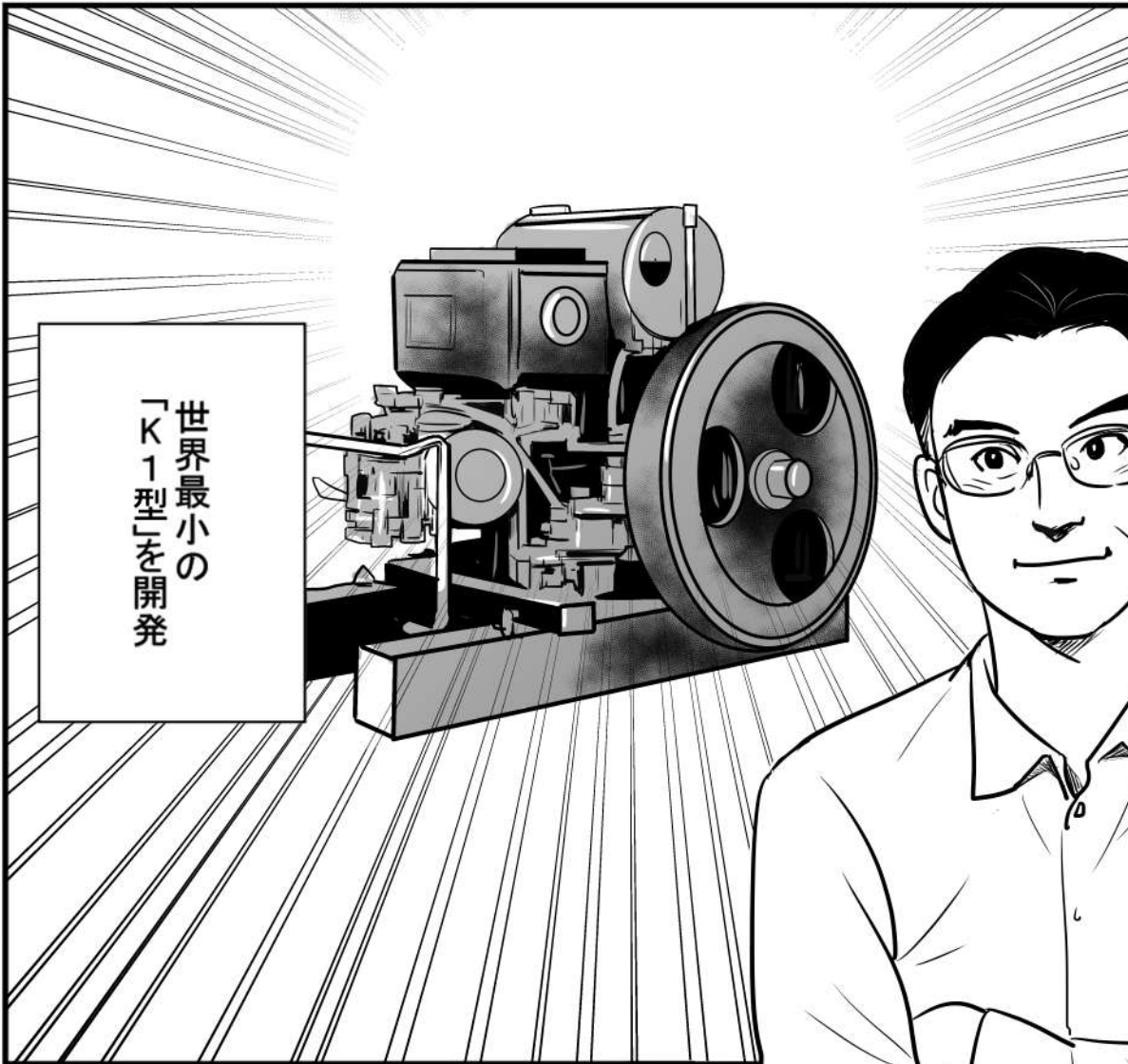
日本は順調に
産業復興への道を
歩み始める



ディーゼルエンジンを
いち早く提供させることで
孫吉は戦後の復興を
下支えたのである



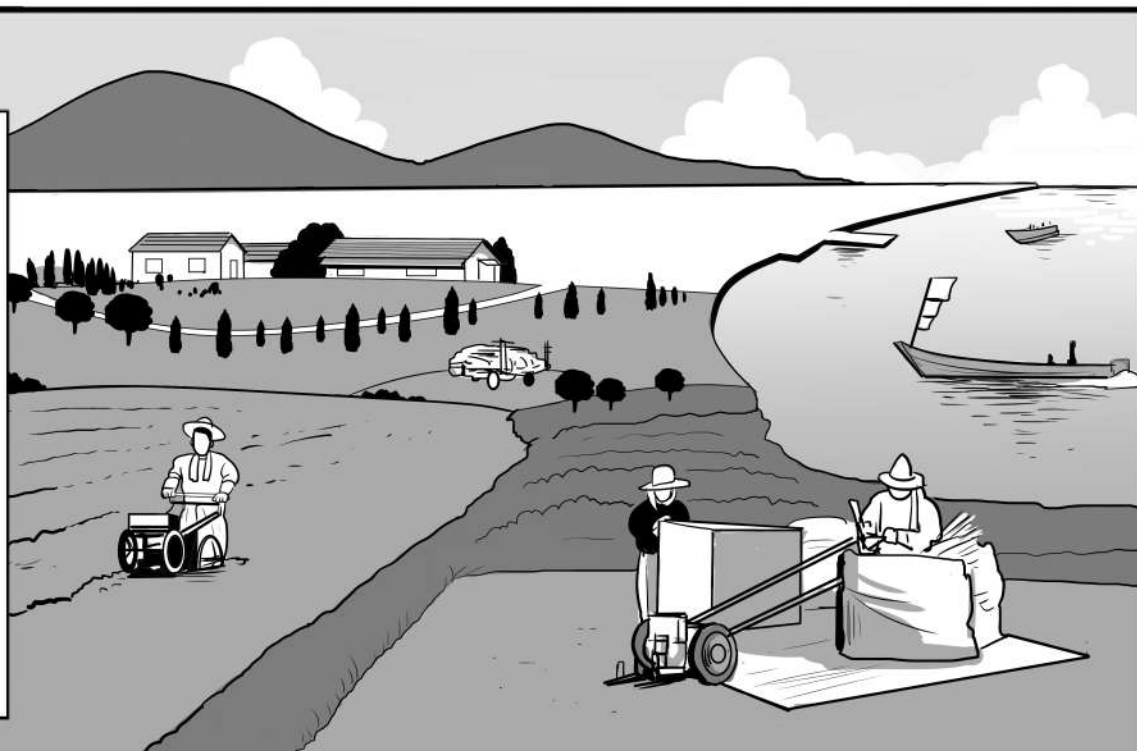
そして約2ヶ月後の
1945年10月、孫吉は
ディーゼルエンジンの
生産再開までこじつける



世界最小の
「K1型」を開発

孫吉たちは
ディーゼルエンジンの
さらなる小型軽量化を
極め続け

用途の多様化も押し進め
農機市場・船用（船舶用エンジン）
市場だけでなく
陸用（建設機械・発電機）
市場へも展開し
ディーゼルエンジンの
普及を努めた

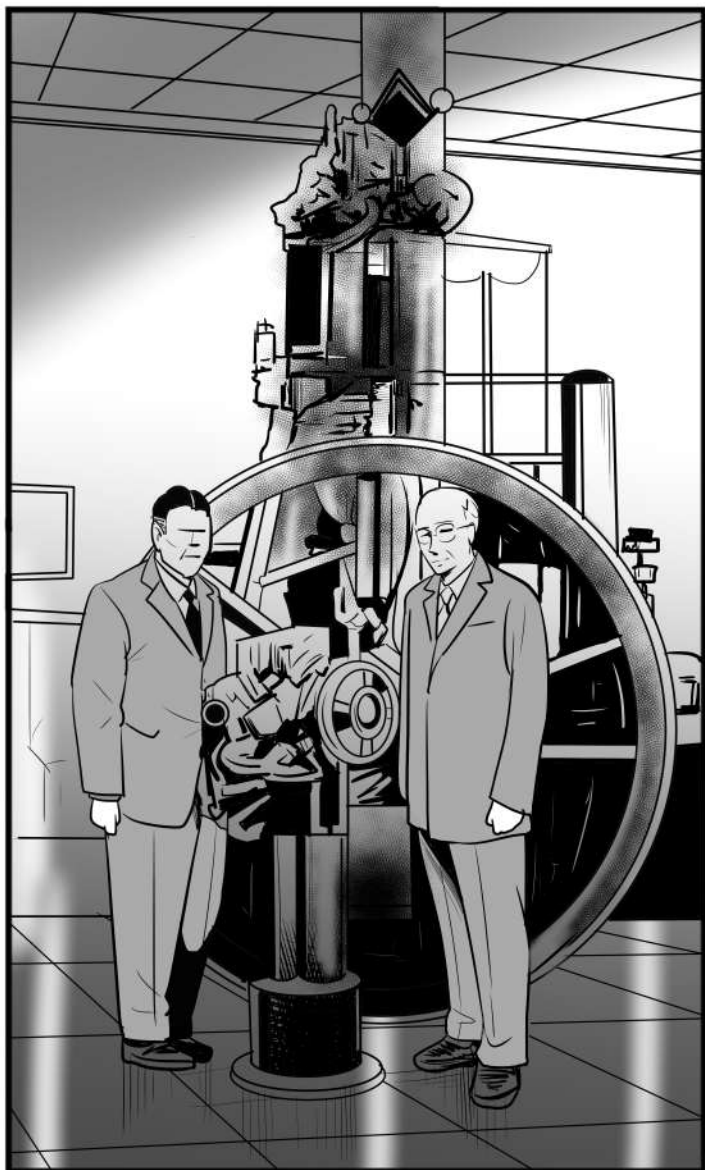


これは高度成長を迎える
日本の産業の底力となり
国内はもとより
アジア各地、ブラジルなどの
海外へも進出

大地、海、都市の
フィールドで世界で
活躍するヤンマーの礎が
築かれたのである。



そしてその偉業は
ディーゼルエンジンの
母国である西ドイツでも
高く評価される



ディーゼル金賞牌

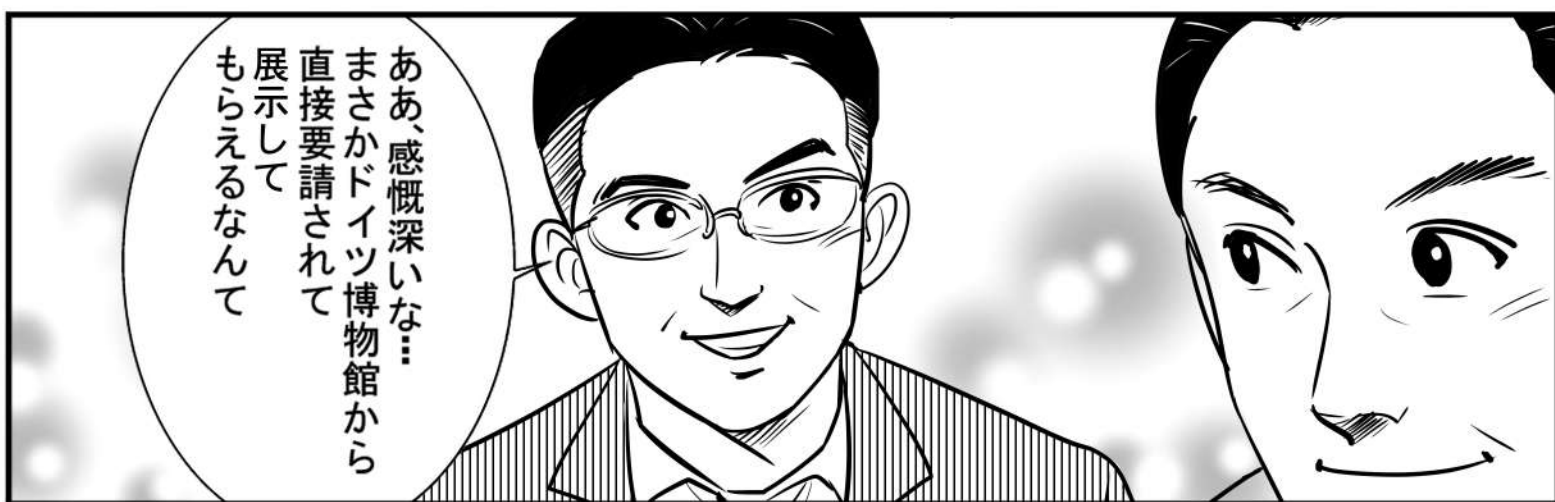
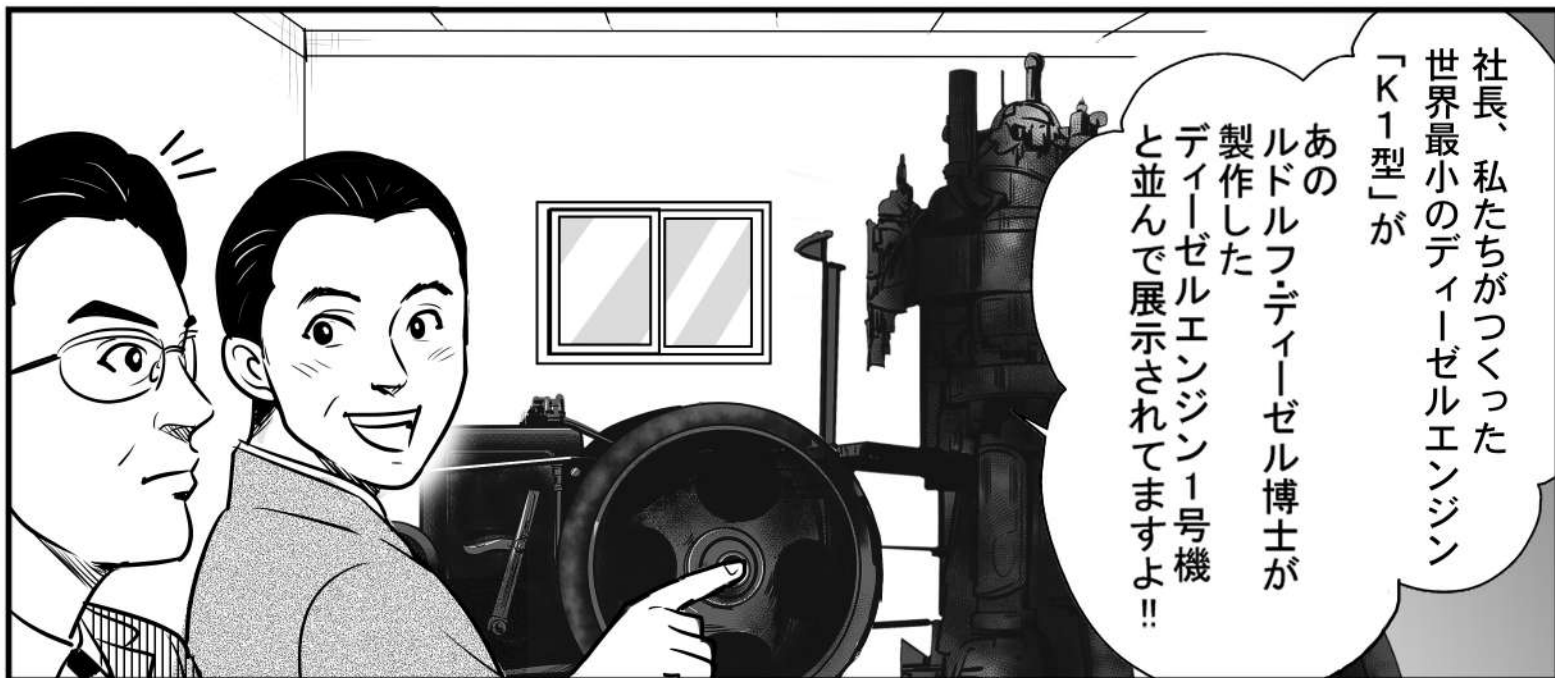
1955年4月
ドイツ発明者協会から
ディーゼル金賞牌が
授与されたのである

1956年1月
ミュンヘン
ドイツ博物館



この賞は
ディーゼルエンジンを発明した
ルドルフ・ディーゼル博士を
記念して、技術や産業に
偉大な功績を残した
科学者や発明家に贈られるもので
ドイツ人以外では
初めての受賞であった









「美しき世界は
感謝の心から」

人生というものは
運、不運に左右される
ことも大きかろうが
それでも誠実さと
感謝の心を失わないで
努力しておれば
よき協力者を得て道も開け
人から感謝もされて
美しい世界がおのずから
展開してくるのだな。



アウグスブルクで行われた
「ディーゼル記念石庭苑」の
贈呈式は、
ルドルフディーゼル博士の
生誕100年祭に合わせて
孫吉が寄贈を
申し入れたことが
発端となっている



ディーゼル博士
あなたは今もなお
日本のすみずみ至るところに
生きています

そして石庭苑の巨石には
現在も孫吉の献辞が
ドイツ語で刻まれ
日独両国民の友情の証
として残されている

孫吉が、自分たちの技術で
人や社会に貢献したいと
思い立ってから100年

もっと
自分たちの
技術で人や社会に
貢献したい

あの日誕生した世界初の
小型ディーゼルエンジンは
時代とともにさらなる
進化を続けてきた

今では農機用や船舶用
だけでなく
世界中の産業機械メーカーの
多くの製品に使用され



省エネ化や排気ガス
規制といった
さまざまな需要に対応

1984年に
南極の昭和基地へ納入した
「コージェネレーションシステム」は
現在も稼働し、南極観測隊にとって
大きな意義を果たし続けている



そして、ヤンマーは
ディーゼルエンジンを核とし
それを動力源とした
農機、建機、船舶、発電装置など
様々な製品に開発領域を広げ

常に時代をリードする
高い技術力をコアに
大地・海・都市のあらゆる場面で
エネルギーの有効活用を
追及してきたのである

その歩みは、「食糧生産」と
「エネルギー変換」の分野で
お客様の課題を解決し
より豊かな社会の
実現を目指してきた



そうして2016年
ヤンマーが掲げた
ブランドステートメント
それが・・・

A SUSTAINABLE FUTURE

—— テクノロジーで、新しい豊かさへ。 ——

「人がいつまでも
豊かに暮らせること」
「自然がいつまでも
豊かであり続けること」

この2つの
サステナビリティを
高いレベルで
両立するために



ムダのない
エネルギー循環や多様な
産業の自動化・省力化など
次なる100年を
見据えた技術開発を
進めている

そして、これからも
美しい地球そのものを
フィールドにして

世界の人々と未来の
子供たちの笑顔のために
最先端の技術で
新しい豊かさを
生み出している



孫吉が創業から
持ち続けてきた

「技術で人と社会に
貢献する」
という想いと

幾多の道を
切り拓いてきた
開拓者精神

時代を超えても
社員一人ひとりに
受け継がれてきた想いと
開拓者精神こそ
ヤンマーのDNAである

 **YANMAR**

今日もまた世界中の
あらゆる場所で
そのDNAによって
進化し続ける技術の力から
新しい豊かさが生まれている

YANMAR